

みずほCustomer Desk Report 2018/05/22号(As of 2018/05/21)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	111.09 AUD/USD
TKY 9:00AM	110.90	1.1765	130.47	1.3475	0.7523
SYD-NY High	111.39	1.1796	131.00	1.3478	0.7586
SYD-NY Low	110.82	1.1717	130.39	1.3392	0.7503
NY 5:00 PM	111.04	1.1791	130.88	1.3430	0.7583
NY DOW	25,013.29	298.20	日本2年債	-0.1400	0.00bp
NASDAQ	7,394.04	39.70	日本10年債	0.0500	0.00bp
S&P	2,733.01	20.04	米国2年債	2.5677	2.10bp
日経平均	23,002.37	72.01	米国5年債	2.8942	0.69bp
TOPIX	1,813.75	▲1.50	米国10年債	3.0569	▲0.19bp
シゴ日経先物	23,030	180.00	独10年債	0.5195	▲5.40bp
ロンドンFT	7,859.17	80.38	英10年債	1.4740	▲2.40bp
DAX	-	-	豪10年債	2.8725	▲5.20bp
ハンセン指数	31,234.35	186.44	USDJPY 1M Vol	6.75	0.05%
上海総合	3,213.84	20.54	USDJPY 3M Vol	7.10	▲0.03%
NY金	1,290.90	▲0.40	USDJPY 6M Vol	7.71	▲0.03%
WTI	72.35	1.07	USDJPY 1M 25RR	-0.45	Yen Call Over
CRB指数	205.69	2.00	EURJPY 3M Vol	7.53	0.10%
ドルインデックス	93.68	0.04	EURJPY 6M Vol	7.98	0.04%

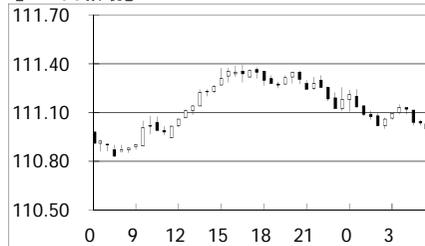
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月21日	08:50	日 貿易収支	4月 ¥626.0b	¥440.0b
	21:30	米 シンゴ連銀全米活動指数	4月 0.34	0.30
5月22日		米 ポスティック・アトランタ連銀総裁講演「年内あと2回の利上げを支持」		
		米 ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁講演「インフレ急加速見られず、利上げを急ぐ必要はない」		
		米 カシユカリ・ミネアポリス連銀総裁講演「賃金の上昇はまだ見られていない」		

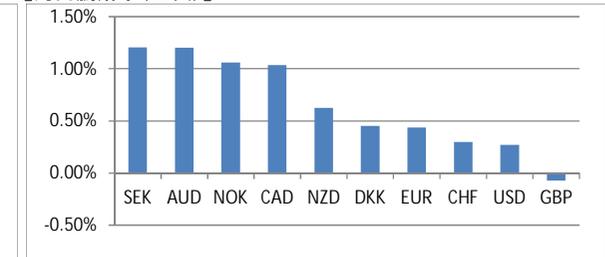
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月22日	23:00	米 リッチモンド連銀製造業景況指数	5月 10	-3

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.50-111.50	1.1750-1.1850	130.00-131.50

【マーケット・インプレッション】

昨日海外時間のドル/円は上値の重い推移となった。ポジション調整のドル売りに加えて、ポスティック・アトランタ連銀総裁の「今年あと2回の利上げを支持」、ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁の「利上げを急ぐ必要はない」との発言が意識されたこと等からじり安推移となり、一時111.00まで下落する展開となった。本日のドル/円相場は方向感に欠ける推移を予想する。昨日は海外時間に入りドル売りが強まる局面が見られたが、ポジション調整的な意味合いが強く長続きするものではないと考えている。イタリア情勢に対する不安は残るものの、マーケット全般でみるとリスクセンチメントは悪い状況ではなく、押し目買い意欲も相応にありそうだ。

東京	週末、ムニオン米財務長官が「今回の米中通商協議では関税措置を保留することで合意した」と発言したこともあり早朝111円台を試したドル円は、東京時間110.90レベルでオープン。株式市場も堅調に推移する中、円売り地合いとなり、ドル円は直近高値である111.08を上げ111.37まで上伸。その後も高値圏での推移が続き、111.36レベルで海外市場に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は111.36レベルでオープン。序盤に高値111.39を付けるも、狭いレンジの中で方向感はなく、111.25レベルでNYに渡った。ユーロは1.1741レベルでオープン。イタリアの新政権に対する警戒感から、1.1717まで下落する局面が見られるも、1.1762レベルまで値を戻してNYに渡った。
ニューヨーク	米中通商協議では、中国が輸入を増やすことを約束し、追加関税発動の保留で一致したことから、貿易戦争懸念が一旦後退し、ドル買いに加え円売りも強まったことから、ドル円は海外市場で111.39まで戻し111.25レベルでNYオープン。朝方は利益確定のドル売りが優勢となる一方、タウ先物が堅調に推移する動きを受けた円売りにドル円は値動きを挟められ、レンジでの推移が続く。午後はリスク志向からドル売りコモディティ通貨買いが強まる中、アトランタ連銀総裁(中立派/投票権有)の「今年あと2回の利上げを支持」との発言や、フィラデルフィア連銀総裁(ハ派寄り/投票権無)の「利上げを急ぐ必要はない」との発言も伝わり、ドル円は上値を抑えられ、111.04レベルでクロスした。一方、1.1762レベルでNYオープンを迎えたユーロは、朝方は海外市場の流れを引き継ぎ、1.1780まで戻す。その後はドイツとイタリアの国債スプレッドが拡大する動きを嫌気し、ユーロ売りが強まり、1.1743まで反落する。しかしその後もドル売りが継続したことから1.1796まで戻し、1.1791レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 森谷・森谷